

- 問1 中国・四国地方に属する香川県、広島県、山口県の統計を比較検討した際、香川県を特定するための指標として、農業および地理的条件の観点から最も適切な記述はどれですか。(2023年 青森県公立入試 類似)
- 3県の中で最も人口減少率が低く、自動車産業などの製造品出荷額が県内総生産の半分以上を占めている。
 - 中国山地の山間部を利用した肉用牛の飼育が盛んであり、乳製品の産出額が四国地方で最大である。
 - 県全体の面積は日本で最も狭いが、温暖な気候を活かした果実栽培や、瀬戸内海での養殖業を含む漁業産出額に特徴がある。
 - 本州と九州を結ぶ関門海峡に面しており、下関港を中心とした遠洋漁業の拠点として漁獲量が突出している。
- 問2 香川県の北部に位置し、本州四国連絡橋の一つである瀬戸大橋を通じて岡山県倉敷市と結ばれている都市があります。四国の玄関口として本州との間で人やものの移動が盛んなこの県庁所在地の名称として正しいものを選びなさい。(2018年 長崎県公立入試 類似)
- 高松市
 - 徳島市
 - 松山市
 - 高知市
- 問3 岡山県から山口県にかけての瀬戸内海沿岸部における工業の特色について、正しい説明はどれですか。(2018年 沖縄県公立入試 類似)
- 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている
 - 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で軽量の集積回路(IC)を製造する「シリコンアイランド」が形成されている
 - 自動車の組み立て工場が内陸部の広大な土地に集中し、日本最大の工業生産額を誇る工業地帯となっている
 - 情報通信技術(ICT)を活用したソフトウェア開発や、バイオテクノロジーなどの先端産業が生産の中心となっている
- 問4 香川県の讃岐平野では、「大池」や「新池」といった名称の池が平野部に数多く散在しています。これらの池は「ため池」と呼ばれますが、この地域でため池が古くから多く作られてきた理由として最も適切な説明を選びなさい。(2025年 茨城県公立入試 類似)
- 中国山地と四国山地に挟まれて季節風が遮られるため、年間を通じて降水量が少なく、農業用水が不足しやすいから。
 - 年間を通じて台風の通り道にあたり、一時的な豪雨による洪水被害を防ぐための遊水地として機能させる必要があったから。
 - 大規模な河川が平野部を流れておらず、雪解け水を利用することができないため、地下水を汲み上げる必要があったから。
 - 標高が海面よりも低い土地が多く、高潮による塩害を防ぐために真水を蓄えておく必要があったから。
- 問5 瀬戸内海を挟むように位置する2つの山地について、北側の中国地方に連なる山地と、南側の四国地方の中央部を走る山地の名称を正しく組み合わせたものはどれですか。(2020年 長野県公立入試 類似)
- 北側：中国山地、南側：四国山地
 - 北側：四国山地、南側：中国山地
 - 北側：飛騨山脈、南側：木曾山脈
 - 北側：筑紫山地、南側：九州山地
- 問6 日本の諸地域のうち、四国地方の都市とその特徴について述べた文として、高松市の状況を正しく説明しているものはどれですか。(2018年 長崎県公立入試 類似)
- 本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川県の県庁所在地である。
 - 明石海峡大橋を通じて兵庫県と結ばれており、四国東部の交通の拠点となっている徳島県の県庁所在地である。
 - 四国地方で最大の人口を抱え、古くからの温泉や城下町としての歴史を持つ愛媛県の県庁所在地である。
 - 黒潮の影響を受ける温暖な気候を利用して、野菜の促成栽培が盛んに行われている高知県の県庁所在地である。
- 問7 四国地方に位置するある県は、2016年の統計においてレモンの収穫量が全国の20.8%を占めており、広島県に次いで国内第2位の産地となっています。この県として正しい名称を答えなさい。(2020年 長野県公立入試 類似)
- 愛媛県
 - 香川県
 - 徳島県
 - 高知県
- 問8 中国・四国地方には、政府の出先機関や企業の支社・支店が集まる拠点となる都市がある。人口が100万人を超え、このような機能を持つ「地方中枢都市」として分類される都市はどれか。(2023年 青森県公立入試 類似)
- 広島市
 - 岡山市
 - 松山市
 - 高松市
- 問9 日本の工業地域の特色について述べた次の文章の空欄にあてはまる産業として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。「瀬戸内工業地域の2021年における製造品出荷額等の構成をみると、全国平均では14.4%である産業の割合が、この地域では約20.5%に達しており、中京工業地帯の10.3%などと比較しても非常に高い割合を占めている。この産業は、倉敷市の水島地区などに形成されたコンビナートを中心に発展してきた。」(2025年 宮城県公立入試 類似)
- 化学工業
 - 機械工業
 - 金属工業
 - 食品工業
- 問10 岡山県と香川県を結ぶ瀬戸中央自動車道の開通が、この地域の交通状況に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。(2018年 広島県公立入試 類似)
- フェリーの運賃が大幅に引き下げられたため、船舶による物流が急増した。
 - 船舶から鉄道や自動車による移動に切り替わったことで、移動の待ち時間が解消され迅速化した。
 - 高速道路の開通に合わせ、フェリーの航行速度を上げる技術革新が起こり、所要時間が短縮された。
 - 橋の通行料金がフェリーより安価に設定されたため、徒歩による利用者が増加した。
- 問11 山口県の瀬戸内海沿岸部に石油化学コンビナートが建設され、化学工業が発展した理由について述べた文として、地理的な背景や産業の仕組みをふまえたものを選びなさい。(2022年 鳥取県公立入試 類似)
- 原料となる原油を大型船で輸入し、製品を効率よく運び出すために、水深の深い港をもつ臨海部が有利であったため
 - 高速道路網の整備が進んでいるため、原料の輸送や製品の配送を内陸部の消費地へ向けて迅速に行う必要があったため
 - 瀬戸内海特有の温暖で降水量が少ない気候が、精密な化学製品の品質管理や屋外施設の維持に最も適していたため
 - 広大な塩田跡地が広がっており、化学工業に欠かせない原料である塩が安価に大量に供給される環境があったため
- 問12 本州四国連絡橋の各ルートと、それらが結ぶ都道府県の組み合わせとして、適切なものはどれですか。(2024年 和歌山県公立入試 類似)
- 児島・坂出ルートー岡山県と香川県
 - 神戸・鳴門ルートー大阪府と徳島県
 - 尾道・今治ルートー山口県と愛媛県
 - 瀬戸大橋ルートー兵庫県と香川県
- 問13 瀬戸大橋を含む本州四国連絡橋の開通にともなう交通の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。(2023年 群馬県公立入試 類似)
- 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的としていた鉄道路線の廃止などの影響が見られた。
 - 橋の開通によって本州と四国の往来が容易になった結果、フェリーの利用者数が急増し、港周辺の鉄道路線が以前よりも複雑化した。
 - 自動車の通行料金を抑制するために高速道路の利用が制限されたため、一般道路の混雑が激しくなり、鉄道の重要性が再び高まった。
 - 交通網の整備により四国地方への観光客が増加したため、かつて廃止されていた港への鉄道連絡線をすべて復旧させ、海運との連携を強化した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 県全体の面積は日本で最も狭いが、温暖な気候を活かした果実栽培や、瀬戸内海での養殖業を含む漁業産出額に特徴がある。	統計資料から県を特定する場合、香川県は「面積が最小」という地理的特徴に加え、瀬戸内海式の温暖な気候を利用した果実栽培（みかん、オリーブなど）や、世界で初めて成功したハマチの養殖などの漁業が盛んであるという点が大きな判断材料となります。広島県は人口規模や観光客数、山口県は本州最西端の立地や工業・水産業のバランスで区別します。
問2	答え 1 高松市	香川県の県庁所在地である高松市は、瀬戸内海に面した交通の要所です。1988年に開通した瀬戸大橋（児島・坂出ルート）により、対岸の岡山県と鉄道・道路の両方で直接結ばれるようになりました。これにより、四国地方における物流や経済の拠点としての役割がより強固なものとなっています。
問3	答え 1 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている	瀬戸内海沿岸の臨海部では、輸入した原油を精製する工場と、その製品を原料として加工する工場などが集まる「石油化学コンビナート」が多く見られます。これは瀬戸内工業地域の大きな特徴です。シリコンアイランドは九州、日本最大の工業生産額は中京工業地帯の説明であり、瀬戸内工業地域は重化学工業が盛んな地域として知られています。
問4	答え 1 中国山地と四国山地に挟まれて季節風が遮られるため、年間を通じて降水量が少なく、農業用水が不足しやすいから。	讃岐平野が位置する瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しています。夏は太平洋側からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海側からの湿った季節風が中国山地に遮られるため、年間を通じて雨や雪が少なく、乾燥しやすい「瀬戸内の気候」となります。そのため、稲作などに必要な農業用水を安定的に確保する目的で、人工的に水を蓄える「ため池」が数多く作られました。
問5	答え 1 北側：中国山地、南側：四国山地	瀬戸内海は、北側を本州の中国山地、南側を四国地方の四国山地に挟まれた地形的特徴を持っています。中国山地はなだらかな山々が続くのが特徴であり、四国山地は険しい山地が連なっています。これら2つの山地の位置関係を把握することは、地域の気候や産業を理解する上での基礎となります。
問6	答え 1 本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川県の県庁所在地である。	高松市は瀬戸大橋を通じて岡山県とつながっており、四国のなかでも特に本州との結びつきが強い都市です。他の選択肢はそれぞれ徳島市、松山市、高知市の特徴を述べています。四国地方の学習では、これら4つの県庁所在地の位置関係と、本州とのつながり方（ルート）の違いを理解しておくことが重要です。
問7	答え 1 愛媛県	愛媛県は、瀬戸内海に面した温暖な気候と、日当たりの良い傾斜地が多いという地形的条件を活かし、古くから柑橘類の栽培が盛んに行われてきました。みかんの主要産地として知られていますが、近年ではレモンの生産量でも全国上位に位置しており、広島県と共に国内の主要な産地を形成しています。
問8	答え 1 広島市	中国・四国地方における地方中枢都市は広島市である。広島市は人口が100万人を超えており、政治・経済の中心機能が集積している。岡山市は政令指定都市ではあるが、地方中枢都市としての機能は広島市に集約されている。松山市や高松市は四国の主要都市だが、地方全体の中心拠点ではない。
問9	答え 1 化学工業	2021年の統計において、瀬戸内工業地域は全国平均や他の中京・阪神といった工業地帯と比較しても、化学工業の製造品出荷額等の割合が高いことが大きな特色です。これは岡山県の倉敷市（水島）や山口県の周南市、岩国市などの沿岸部に大規模な石油コンビナートが整備されているという地域的な背景が影響しています。
問10	答え 2 船舶から鉄道や自動車による移動に切り替わったことで、移動の待ち時間が解消され迅速化した。	瀬戸中央自動車道の開通前、岡山・香川間の移動はフェリーが中心であり、最短でも2時間以上かかっていました。橋の開通によって、港での待ち時間や船舶への積み込み時間が不要な陸上交通（鉄道・自動車）のみでの移動が可能になり、所要時間は1時間強まで短縮されました。これは単なる速度向上ではなく、交通システムの転換による時間短縮の事例です。
問11	答え 1 原料となる原油を大型船で輸入し、製品を効率よく運び出すために、水深の深い港をもつ臨海部が有利であったため	化学工業、特に石油化学は原料の大部分を海外からの輸入に依存しています。大型タンカーが接岸できる深い港湾をもち、さらに加工した製品を国内外へ大量に輸送できる瀬戸内海沿岸の立地は、生産コストと物流の両面で大きな利点がありました。このように、関連する工場が集まってパイプラインで結ばれるコンビナートが形成されることで、効率的な生産が行われています。
問12	答え 1 児島・坂出ルート — 岡山県と香川県	本州四国連絡橋の「児島・坂出ルート」は、岡山県倉敷市児島と香川県坂出市を結んでおり、その中心となるのが瀬戸大橋です。「神戸・鳴門ルート」は兵庫県と徳島県を、「尾道・今治ルート」は広島県と愛媛県を結んでいます。大阪府や山口県から直接四国へ架かっている連絡橋はありません。
問13	答え 1 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的としていた鉄道路線の廃止などの影響が見られた。	本州四国連絡橋の完成は、人や物の流れを「海運（連絡船）と鉄道の継ぎ」から「陸路（高速道路・鉄道）による直通」へと変化させました。これにより、移動時間が大幅に短縮される一方で、連絡船に接続していた港湾部への鉄道路線などは不要となり、姿を消していきました。地形図などの資料でも、1980年代にあった港への線路が、橋の完成後は消滅している様子が確認できることがあります。